

□

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2010年度
Aコース（スタート助成） 助成事業報告書

2011年 4月 30日

団体名（ふりがな） 特定非営利活動法人 輝らら会（とくていひえいりかつどうほう じんきららかい）
事業名 障がいのあるお子さんを対象としたデイサービス事業
助成金を使って行った事業について、記述してください。 （活動の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください）
<p>【夏季休暇活動】</p> <ul style="list-style-type: none">・プール遊び 暑い夏をただ涼しい場所で過ごすのではなくプールで楽しく元気に活動を行う為にビニールプールを購入しました。・感覚ミュージアム見学 大崎市岩出山にある感覚ミュージアムをボランティアと見学に行きました。・カレー作り体験 子ども達が好きな食をテーマに調理体験を行いました。子どもたちが調理をできるよう子供用の包丁やまな板、ピーラー、ボール、袋などを購入しました。 また、ボランティア用に紙皿や紙コップなども購入しました。・芋煮会 継続して来てくれているボランティア、保護者、地域の方々との交流を深める事を目的に行いました。芋煮会用の紙皿や紙コップ、割りばし、袋、鍋、ざる、薪、炭などを購入しました。・ボランティア交通費 ボランティアに公共交通機関の費用を支払いました。・教材購入 子ども達がボランティアと一緒に絵を書いたりポスターを作ったりするための教材を購入しました。・バーベキュー 夏休みの締めくくりとして、ボランティアや保護者と供に行いました。 その為のバーベキューセットを購入しました。・オリエンテーション ボランティア受け入れの為のオリエンテーション資料の紙を購入し、印刷を行いました。

【冬季休暇ケア】

- ・お楽しみ会
ボランティアと一緒に歌や楽器、踊りを披露し交流を深めました。出し物の為に必要な物品を購入しました。
- ・ボランティア交通費
ボランティアに公共交通機関の費用を支払いました。
- ・教材購入
子ども達がボランティアと一緒に絵を書いたりポスターを作ったりするための教材を購入しました。
- ・餅つき
地域で食育活動を行うNPO団体の協力の下行いました。そのために必要なボールや紙皿、紙コップ、割り箸、袋、すり鉢、すりこ木などを購入しました。
- ・ウォールポケット購入
利用者の持ち物が乱雑にならずわかりやすいように購入しました。

【春季休暇ケア】

- ・調理体験活動
東日本大震災により外での活動が制限され、室内でたこ焼きやお好み焼き、焼きそば、ホットケーキなどを作りました。そのために必要なホットプレートやプラスチックのコップ、皿、フライ返し、菜箸などを購入しました。

今回の助成事業には、どのような形で、複数の団体の協働やボランティアの参加がありましたか？ 具体的に記述してください（人数、関わりの内容、参加者の感想など）

学校や市民活動サポートセンター、社会福祉協議会からの紹介で来てくれたボランティアや同じ地域に住み興味を持って来てくれたボランティアが1日に5名前後、日々子ども達のケア活動に参加し、工作やポスター作りをしたり、外出や体験活動と一緒にいたり見守りをしてくれました。

また、春季休暇ケア活動では災害ボランティアの方々が社会福祉協議会より派遣され、1日6名程が毎日のように子ども達と一緒に遊んだり調理をしたりと活動に参加してくれました。中には“初めは子供嫌いでしたが、一緒にいるうちに好きになりました” “障がいのある子ども達と関り学んだことを、将来生かしていきたい” などという感想をくれました。調理体験や餅つきなどは同じ地域で食育などを中心に活動するNPO法人ハッピーート大崎の方々が協力してくださり、指導や手伝いをしてくれました。冬季休暇に行ったクリスマス会ではボランティアが子ども達の見守りを行い地域で活動する手話サークルの方々がクリスマスソングを披露したり、職員が手品を披露したりと盛大なイベントとなりました。地元新聞社の大崎タイムスが事前に告知を掲載してくださり、当日も取材をして記事にしてくださいました。

当初の成果目標はどの程度達成できましたか。

●申請書に記載した成果目標

長期休暇ケア活動利用者は、多くの利用希望者が予想されます。支援を行う上で、生活支援はもちろん、注意力や認知力が低い子どもが多いため、安全面においてもしっかりと見守りが必要となります。利用者が多くなることにより、現職スタッフだけでは十分な支援体制を調整することが困難となり、ボランティアによる活動が必要となってきます。利用者が休み中の良き思い出となるようボランティアと関わりながら参加できる環境づくりを図ることで成果が発揮できることを目標にしています。今年に児童デイサービス事業を立ち上げ、地域とのつながりを有効に活用するため、長期休暇におけるケア活動でボランティアを募って十分な支援体制を図りたいと思います。

●目標の達成度（自己評価）

高校生や学生（保育士）さんが中心に個々の都合に合わせて参加して頂きました。常に関わっているスタッフの他に色々な方々に接してもらうことを子ども達も日々活動できたと思います。

●達成できない部分があった場合には、考えられる原因をお書きください。

- ・社会見学等の料金に割引制度がある事を把握できず当初の予通りに活動を行う事ができなかった。
- ・利用者の状況や震災の影響により予定を変更もしくは断念してしまった活動があったこと。

今回の事業は、団体の活動や、地域社会にどのような成果・効果がありましたか。

マンツーマン体制で対応に追われ、スタッフの不十分な身体にボランティアがいることで非常に助かりました。又、写真や広報を通じてボランティアの活動を発信することで微力ながら広げていくことができました。そのことで人の輪が広がり、継続したサポーターが増えました。

又、関わりを持った方々が、障がいのある子どもの現状や障がい自体のを知ることで障がい者のいる社会というものを考えるきっかけを作ることができました。

今回の助成事業を行って見えてきた課題は何ですか。

また、その課題解決に向けて必要なものは何ですか。

- ・高校生や学生にとっては経験の場として必要なものであり、行く先の道しるべとなるよう、人材育成を含めて養うことも必要です。
- ・障がいの特性を知らないことで子どもとのコミュニケーションにずれが生じるがありました。障がいのある子ども達と接する中で障がいのあるという特性（専門性）を事前に学習する必要性がありました。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。

また、その際に必要なものは何ですか。

より多くの方々に知ってもらう為にボランティア養成講座を開き、障がいについてや接し方、特性などについてを学習する場を設けたいと思います。

又、これまで参加していただいたボランティアの方々も断続的に活動に参加してもらえるよう、イベント等を企画し参加しやすい環境作りを行う必要があります。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	120000	
合計		

支出の部

項目	金額（円）	内訳
夏季休暇ケア活動	79553	別紙参照
冬季休暇ケア活動	61794	別紙参照
春季休暇ケア活動	10560	別紙参照
合計	151907	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

この度は本当にありがとうございました。
事業所を立ち上げ1年目と何も無いところから始めた団体でしたが、お蔭様で充実した長期休暇を過ごすことができました。
今回の助成があったからこそ地域の方々との輪が広がりました。
手探り状態の中で、また震災という大きな災害があり予定通りに行かないことばかりでしたが今後の課題としこれからも日々精進して参りますので今後ともよろしくお願ひ致します。